

世界銀行「ビジネス環境の現状」と世界経済フォーラム「世界競争力レポート」に見る
アゼルバイジャンのビジネス環境

1. アゼルバイジャンの世界ランキング

世界銀行が発行する「ビジネス環境の現状(Doing Business)」におけるアゼルバイジャンの順位は最新の 2020 年版では 190 カ国中 34 位でした。一方、世界経済フォーラムが発表する「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report)」におけるアゼルバイジャンの順位は最新の 2019 年版では 141 カ国中 58 位でした。

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
Doing Business	↘54	↘66	↘67	↘70	↘80	↗63	↘65	↗57	↗25	↘34
Global Competitiveness	↗55	↗46	↗39	↗38	↘40	↗37	↗35	↘69	↗58	

(矢印は順位の前年比)

2. 評価項目

「ビジネス環境の現状」では、事業の始めやすさ、建設許可、電力へのアクセス、不動産登記、資金調達、少数株主の保護、納税、海外貿易、契約執行、破綻処理の 10 の評価項目を数値化して総合点を算出しています。

「世界競争力レポート」では、2017 年までは制度、インフラ、マクロ経済環境、健康と初等教育、高等教育・職業訓練、物品市場の効率性、労働市場の効率性、金融市場の発展度合、技術面の素地、経済市場規模、ビジネスの洗練度、技術革新の 12 の評価項目が使用されていましたが、2018 年以降評価手法と評価項目が修正され、評価項目では以下の変更がありました。

変更があった評価項目

変更前	健康と初等教育	高等教育と訓練	技術面の素地	ビジネスの洗練度
変更後	健康	技術	ICT 浸透度	ビジネスのダイナミズム

3. アゼルバイジャンで評価が上がった項目・下がった項目

「ビジネス環境の現状」の各評価項目のデータ入手が可能だった 2015 年から 2019 年までの評価の変動をみると、5 年間で評価が特に改善した3項目は改善幅が大きい順に、資金調達、海外貿易、少数株主の保護です。一方、不動産登記、契約執行の 2 項目については 5 年間で評価が下がっています。

「世界競争力レポート」は、2018 年に評価手法と評価項目が変更され、2017年以前と最新データを適切に比較することが不可能なため、分析可能な 2018 年から 2019 年にかけて見られた各評価項目の評価の変動を見ると、評価が特に改善した3項目は改善幅が大きい順に、マクロ経済環境、労働市場、インフラです。一方、評価が下がった項目は、健康でした。

(以上)